

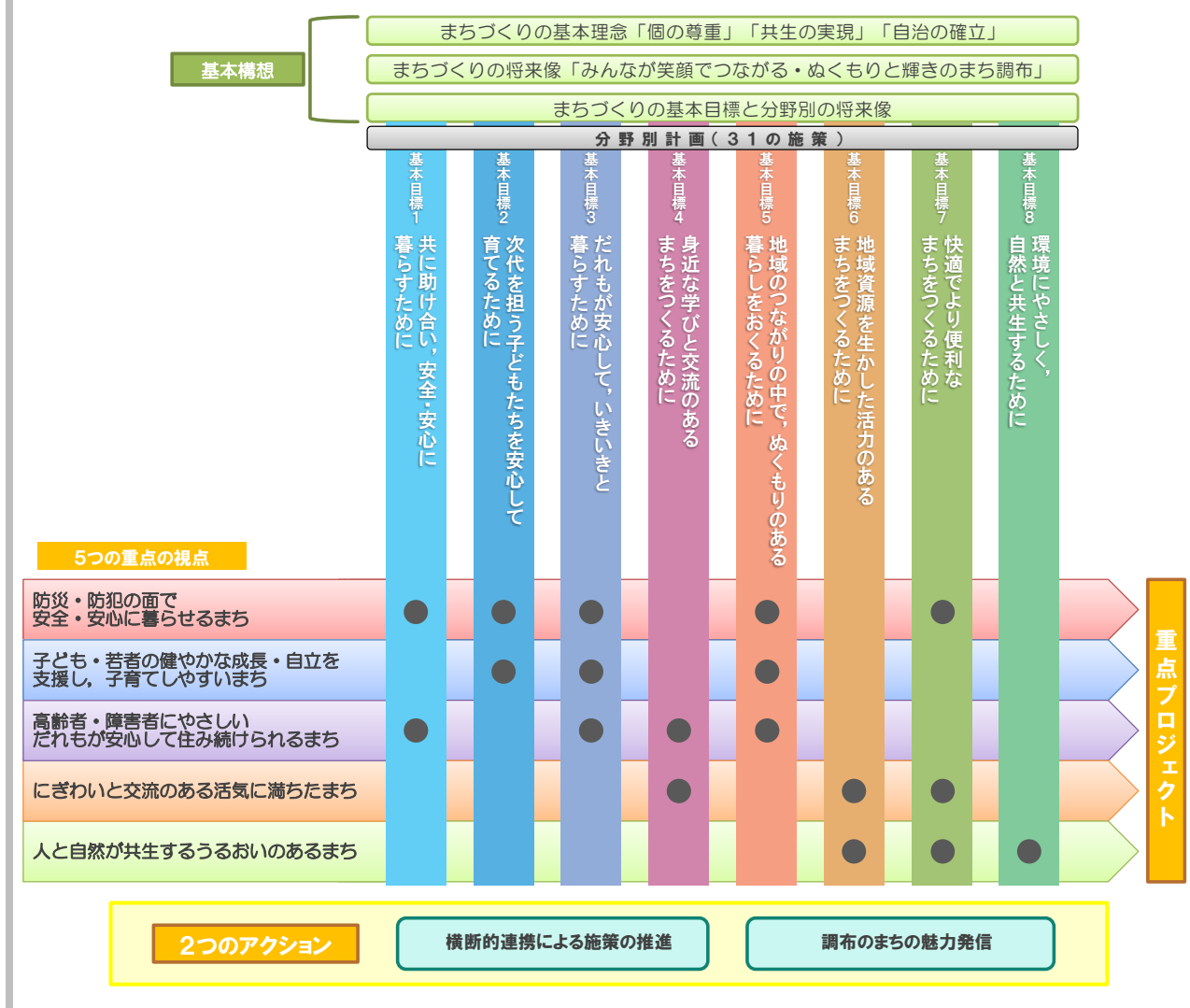
【参考資料①】 5つの重点プロジェクトと2つのアクション

(1) 5つの重点プロジェクトと2つのアクションの考え方

基本計画（令和元年度～令和4年度）では、平成30年度までの基本計画の重点的取組によるまちづくりの成果を発展的に引き継ぐとともに、今後10年を展望しつつ、更に魅力あふれる豊かなまち調布の実現を目指していく中で、5つの重点の視点により、分野別計画の中で、計画期間内に特に重点的に取り組むべき主要事業について、優先性を踏まえた選択と集中の観点から重点プロジェクトとして位置付け、限られた経営資源を計画的かつ効果的・効率的に活用し、基本構想に掲げたまちの将来像「みんなが笑顔でつながる・ぬくもりと輝きのまち調布」の実現を目指しています。

また、重点プロジェクトを基軸とする施策全体をより効果的に推進していくため、「横断的連携による施策の推進」と「調布のまちの魅力発信」の2つのアクションを位置付け、関連する施策を有機的に連動させた展開を図ることとしています。

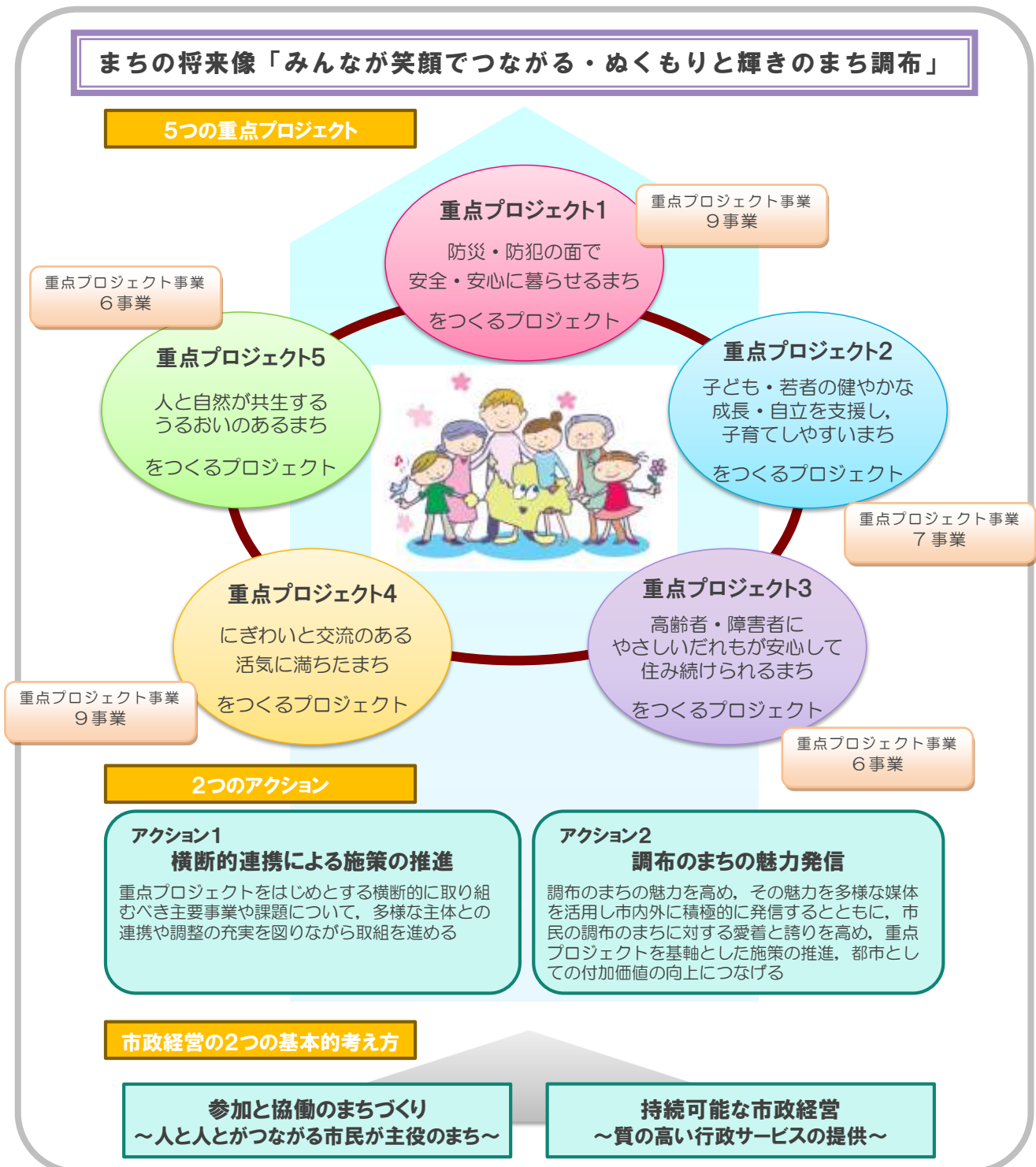
<基本構想と5つの重点プロジェクト・2つのアクションとの関係>



(2) 5つの重点プロジェクトと2つのアクションの取組

市は、まちの将来像「みんなが笑顔でつながる・ぬくもりと輝きのまち調布」を実現するため、5つの重点プロジェクトと市政経営における2つの基本的な考え方により総合的かつ計画的に各種取組を推進することとしています。

また、2つのアクションにより、重点プロジェクトを基軸とする施策全体を効果的に推進することとしています。



(3) 令和4年度行政評価における5つの重点プロジェクトと 2つのアクション

◆施策評価

5つの重点プロジェクト及び2つのアクションに関しては、令和3年度の取組実績の振り返りに当たり、施策の成果向上に向けて重点プロジェクトを横断して取り組む4つのテーマに関するものや、多様な主体と連携した取組のほか、調布のまちの魅力発信に関する取組等を記載することで、基本計画に位置付けた重点プロジェクトと2つのアクションの視点に留意した振り返り評価につなげました。

また、市長をはじめとした特別職及び部長職等で構成する行政経営会議で実施した施策評価結果の報告では、次期総合計画の策定を見据え、現行の基本計画に位置付けている全31施策を対象として行政経営会議のメンバーと、施策の主管課長及び関係課長で、施策を取り巻く状況や社会的潮流を踏まえた課題及び今後の取組の方向について意見交換等を行いました。

なお、基本計画に基づく全31施策について、行政経営会議で効率的な議論が行えるよう、事前に「行政経営会議」のメンバーに対して施策評価結果に関する意見照会を実施することで、限られた時間で効果的な意見交換の実施につなげました。

これらの取組により、5つの重点プロジェクトや2つのアクションに関する取組も含めた状況把握を行い、今後の計画の着実な推進や、次期基本計画の策定に向けた検討を行いました。

◆事務事業評価

他の評価対象事務事業と同様に、重点プロジェクト事業について、前年度の取組実績を振り返るとともに、評価結果や現状等を踏まえた今後の取組の方向を示す評価を行いました。

<参考：事務事業評価結果>

【実績評価集計】

項目	事業数
◎	16
○	21
△	0

【今後の取組の方向集計】

項目	事業数
有効性改善	18
効率性改善	
財政面改善	
参加と協働改善	19
現状継続	

(4) 重点プロジェクト事業の事務事業評価結果概要

重点プロジェクト1 防災・防犯の面で安全・安心に暮らせるまちをつくるプロジェクト

【目指すまちの姿】

○自助・共助・公助の基本的な考え方の下、地域や関係機関等との協働による地域の防災体制づくりや、犯罪が発生しにくい環境整備により地域の防災・防犯力の向上が図られています。

- 近年の地震や風水害、過去の教訓を踏まえ、自助・共助・公助の基本的考え方下、ソフト・ハード両面から防災・減災対策が進められています。
- 地域に根差した防災活動の主体となる防災市民組織が市内各地域で組織され、自助の意識の一層の醸成が図られています。
- 市民が安全に安心して暮らせるよう、犯罪の起こりにくい環境づくりが進んでいます。

○延焼遮断帯の形成、緊急輸送道路の機能確保、住宅の耐震化、下水道の耐震化など、市民が安心して暮らすことができる災害に強い都市基盤づくりが進んでいます。

- 特定緊急輸送道路の沿道建築物の耐震化が進み、震災時の復旧・復興の大動脈となる輸送機能の確保が図られています。
- 下水道施設の耐震化や老朽化した管路の機能維持、更新などにより災害時の安全性の確保が図られています。

【令和4年度の到達点】

指標	基準値	目標値
調布市の地震などの災害対策に満足している市民の割合	59.9% (平成30年度)	70.0% (令和4年度)
治安の面で自分の住んでいる地域が安心して暮らせると感じている市民の割合	83.3% (平成30年度)	90.0% (令和4年度)

【重点プロジェクト事業の事務事業評価結果概要一覧（9事業）】

施策No	施策名	事務事業名	所管部署	実績評価	前年度の取組実績・今後の取組の方向										
					R3取組実績				今後の方向						
					計画どおり	計画前倒し	計画遅れ	コロナ影響	現状継続	有効性改善	効率性改善	財政面改善	参加と協働改善		
施策01	災害に強いまちづくり	防災市民組織の育成	総合防災安全課	○			●	●							●
施策01	災害に強いまちづくり	防災備蓄品の確保・充実	総合防災安全課	○	●					●					
施策01	災害に強いまちづくり	災害情報システムの維持管理・充実	総合防災安全課	○			●	●		●					
施策01	災害に強いまちづくり	調布市避難行動要支援者避難支援プランの推進	福祉総務課	◎	●					●					●
施策01	災害に強いまちづくり	特定緊急輸送道路沿道建築物耐震化促進事業	住宅課	○			●		●						
施策01	災害に強いまちづくり	消防団の対応能力の向上	総合防災安全課	◎	●				●						
施策02	防犯対策の推進	犯罪抑止対策の推進	総合防災安全課	◎	●					●					●
施策05	学校教育の充実	命の教育活動の推進	指導室	○	●				●						
施策29	快適な生活環境づくり	下水道施設の機能維持	下水道課	○	●					●					
					6	0	3	2	3	5	0	0	3		

重点プロジェクト2
子ども・若者の健やかな成長・自立を支援し、子育てしやすいまちをつくるプロジェクト

【目指すまちの姿】

○安心して子どもを産み育てられる環境づくりが進んでいます。

○多様なニーズに対応した保育サービスが提供されるとともに、妊娠期から子育て期にわたる切れ目ない支援の充実が図られています。

○すべての子ども・若者が家庭事情等により、進路をあきらめることのないよう、また、社会の一員として自立した生活をおくることができるよう、地域で支援する環境づくりが進んでいます。

○子ども・若者をめぐる複雑化・深刻化する諸問題の解決につなげていく体制づくりが進んでいます。

○次代を担う子どもたちが生きる力を身に付け、夢を持って健やかに育つ環境づくりが進んでいます。

○良好な学習環境が整備され、子どもたちが、基礎的な学力や社会性、体力を身に付けながら、主体的に考え、生きる力を育むための機会が提供されています。

【令和4年度の到達点】

指標	基準値	目標値
子育てサービスに満足している市民の割合	59.4% (平成30年度)	70.0% (令和4年度)
就労などの面で困難を抱える若者への支援に満足している市民の割合	50.7% (平成30年度)	60.0% (令和4年度)
小・中学校の教育に満足している市民の割合	62.5% (平成30年度)	65.0% (令和4年度)

【重点プロジェクト事業の事務事業評価結果概要一覧（7事業）】

施策No	施策名	事務事業名	所管部署	実績評価	前年度の取組実績・今後の取組の方向										
					R3取組実績				今後の方向						
					計画どおり	計画前倒し	計画遅れ	コロナ影響	現状継続	有効性改善	効率性改善	財政面改善	参加と協働改善		
施策04	子ども・子育て家庭の支援	出産・子育て応援事業	健康推進課	◎	●					●					
施策04	子ども・子育て家庭の支援	待機児童対策の推進	子ども政策課	◎	●					●					
施策04	子ども・子育て家庭の支援	学童クラブ施設の整備	児童青少年課	○	●					●					
施策05	学校教育の充実	特別支援教育の推進	指導室	○	●						●				
施策05	学校教育の充実	地域人材等を活用した教育の充実	指導室	◎	●						●				●
施策05	学校教育の充実	小・中学校施設の整備	教育総務課 指導室	◎	●							●	●		
施策06	青少年の健全育成	子ども・若者への支援	児童青少年課	◎	●					●					
					7	0	0	0	4	2	1	1	1		

重点プロジェクト3 高齢者・障害者にやさしいだれもが安心して住み続けられるまちをつくるプロジェクト

【目指すまちの姿】

○高齢者が、住み慣れた地域で安心して生きがいをもって暮らすことができるよう、高齢者を支える取組が進んでいます。

○高齢者ができる限り住み慣れた地域での日常生活を継続できるよう、適切な医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築が図られています。

○障害者が、地域で安心して自立した生活をおくれるよう、障害者を支える取組が進んでいます。

○障害者への理解が進んでいるとともに、障害者のニーズやライフステージに応じた様々な支援体制の構築が図られています。

○地域でともに認め合い、助け合い、支え合う、地域福祉の充実が図られています。

○地域で複合化・複雑化する様々な課題を抱える高齢者や障害者に対し、必要な支援や課題解決につなげていく体制づくりが図られています。

○専門性を有する福祉人材が、地域住民とともに様々な福祉活動を展開しています。

【令和4年度の到達点】

指標	基準値	目標値
高齢者の福祉に満足している市民の割合	61.8% (平成30年度)	65.0% (令和4年度)
障害者の福祉に満足している市民の割合	59.8% (平成30年度)	65.0% (令和4年度)
地域交流の場に参加・協力したい (している)市民の割合	33.7% (平成30年度)	40.0% (令和4年度)

【重点プロジェクト事業の事務事業評価結果概要一覧（6事業）】

施策No	施策名	事務事業名	所管部署	実績評価	前年度の取組実績・今後の取組の方向										
					R3取組実績				今後の方向						
					計画どおり	計画前倒し	計画遅れ	コロナ影響	現状継続	有効性改善	効率性改善	財政面改善	参加と協働改善		
施策07	共に支え合う地域福祉の推進	地域福祉コーディネーター事業の推進	福祉総務課	◎	●					●					
施策07	共に支え合う地域福祉の推進	福祉人材育成事業の推進	障害福祉課	○	●						●				
施策08	高齢者福祉の充実	地域包括支援センターの充実	高齢者支援室 高齢福祉担当	◎	●					●					
施策08	高齢者福祉の充実	介護予防・日常生活支援総合事業の展開	高齢者支援室 高齢福祉担当	○	●					●					
施策09	障害者福祉の充実	障害児・者医療的ケア支援事業	障害福祉課	○	●						●				
施策09	障害者福祉の充実	障害者の就労支援	障害福祉課	○	●						●				
					6	0	0	0	0	3	3	0	0	0	0

重点プロジェクト4 にぎわいと交流のある活気に満ちたまちをつくるプロジェクト

【目指すまちの姿】

○利便性と快適性を兼ね備えたにぎわいと交流のある都市空間の創出，様々な都市機能の集積により魅力ある市街地の形成が図られています。

- 交通利便性向上に加え，環境空間としての交流機能や景観形成機能などの広場空間を兼ね備えた駅前広場の整備が進められています。
- 調布・布田・国領3駅の駅前広場と各駅をつなぐ鉄道敷地の連続した空間の有効活用により，にぎわいや交流，うるおい，やすらぎのある都市空間の整備が進められています。
- 駅周辺をはじめ面的整備手法を活用した土地の有効・高度利用により，地域の特性にふさわしい都市機能の集積，計画的なまちづくりが進められています。

○まちの回遊性を高め，歩いて楽しいまちづくりが形成されているとともに，映画やスポーツなどの地域資源を生かし，まちの活性化が図られています。

- 産業振興と都市基盤の整備が一体となった魅力的な中心市街地が形成されています。
- 安全で快適な歩行者空間ネットワークの形成により，まちの回遊性の向上が図られているとともに，映画・映像関連企業との連携や，スポーツ，芸術・文化などの地域資源の活用により，まちの活性化が図られています。

【令和4年度の到達点】

指標	基準値	目標値
住みやすいと感じている市民の割合	93.0% (平成30年度)	95.0% (令和4年度)
中心市街地が魅力的であると感じている市民の割合	67.8% (平成30年度)	80.0% (令和4年度)
自宅などから目的地まで円滑に移動できる道路ネットワークが形成されていると感じている市民の割合	72.0% (平成30年度)	75.0% (令和4年度)

【重点プロジェクト事業の事務事業評価結果概要一覧（9事業）】

施策No	施策名	事務事業名	所管部署	実績評価	前年度の取組実績・今後の取組の方向								
					R3取組実績				今後の方向				
					計画どおり	計画前倒し	計画遅れ	コロナ影響	現状継続	有効性改善	効率性改善	財政面改善	参加と協働改善
施策14	市民スポーツの振興	東京2020大会等を契機としたスポーツ振興による多面的効果の創出	スポーツ振興課	◎			●	●			●	●	●
施策16	活力ある産業の推進	商店街活性化の推進	産業振興課	○			●	●		●			
施策16	活力ある産業の推進	中小企業・小規模事業者の支援	産業振興課	◎			●	●	●				
施策17	魅力ある観光の振興	「映画のまち調布」の推進	産業振興課	◎			●	●	●				
施策22	地域特性を生かした都市空間の形成	駅前広場の整備	街づくり事業課	○	●				●				
施策22	地域特性を生かした都市空間の形成	鉄道敷地の整備	街づくり事業課	○	●				●				
施策22	地域特性を生かした都市空間の形成	中心市街地における区画道路等の整備	街づくり事業課	○	●				●				
施策24	安全で快適なみちづくり	道路網計画に基づく計画的な道路ネットワークの形成	街づくり事業課	○	●				●				
施策25	総合的な交通環境の整備	自転車等駐車場の整備・有料化	交通対策課	○	●				●				
					5	0	4	4	7	1	1	1	1

重点プロジェクト5 人と自然が共生するうるおいのあるまちをつくるプロジェクト

【目指すまちの姿】

○ふるさと調布の大切な財産である緑と水辺環境が守り育てられ、次代にうるおいのあるまちが継承されています。

- 多様な主体が連携、協働して、水と緑の保全・創出や地球環境に配慮した取組が広がり、自然環境が保全された豊かな都市が形成されています。
- 調布市の貴重な地域環境資源である深大寺・佐須地域の保全・活用により、良好な自然環境や里山の景観が維持されています。
- 貴重な緑地空間としての都市農地の保全・活用が図られ、災害時における防災空間としての役割や、うるおいとやすらぎをもたらす環境の形成など、多面的機能が確保されています。

○地域固有の景観資源の価値を市民と共有し、地区の特性を生かした景観まちづくりの取組が進められています。

- 景観法を活用した景観まちづくりの推進により、地域の特性に応じた景観のルールづくりの取組が広がり、調布らしい魅力ある景観形成が図られています。
- 調布市の代表的な観光スポットである深大寺地区は、地域との連携を図りながら、街なみ景観の維持・向上が図られ、武蔵野の自然と歴史・文化が継承された景観形成が図られています。

【令和4年度の到達点】

まちづくり指標	基準値	目標値
緑の保全や自然環境に満足している市民の割合	68.5% (平成30年度)	70.0% (令和4年度)
市内に優れた景観があると感じている市民の割合	82.5% (平成30年度)	90.0% (令和4年度)

【重点プロジェクト事業の事務事業評価結果概要一覧（6事業）】

施策No	施策名	事務事業名	所管部署	実績評価	前年度の取組実績・今後の取組の方向									
					R3取組実績				今後の方向			参加と協働改善		
					計画どおり	計画前倒し	計画遅れ	コロナ影響	現状継続	有効性改善	効率性改善		財政面改善	
施策18	都市農業の推進	都市農地の保全・活用	農政課	◎	●					●				
施策21	良好な市街地の形成	景観計画・景観条例の運用	都市計画課	○			●	●		●				
施策22	地域特性を生かした都市空間の形成	深大寺地区におけるまちづくりの推進	都市計画課	○	●					●				
施策27	水と緑による快適空間づくり	公園・緑地、産線樹林地の保全	緑と公園課	◎	●									●
施策27	水と緑による快適空間づくり	公園・緑地等の整備	緑と公園課	○	●				●					
施策27	水と緑による快適空間づくり	深大寺・佐須地域の里山、水辺環境の保全・活用	環境政策課	◎	●				●					
					5	0	1	1	2	3	0	0	1	

(5) 2つのアクションに関する取組実績の振り返り

施策全体をより効果的に推進していくため、次の2つのアクションを位置付け、関連する施策を有機的に連動させて取組の展開を図っています。各施策における「横断的連携による施策の推進」に関する取組内容については、各施策マネジメントシートの「施策の成果向上に向けた主な取組実績」に記載しています。

<2つのアクションと狙い>

<アクション1 横断的連携による施策の推進>

【アクションの狙い】

重点プロジェクトをはじめとする横断的に取り組むべき主要事業や課題について、多様な主体との連携や調整の充実を図りながら取組を進めます。

<アクション2 調布のまちの魅力発信>

【アクションの狙い】

調布のまちの魅力を高め、その魅力を多様な媒体を活用し市内外に積極的に発信するとともに、市民の調布のまちに対する愛着と誇りを高め、重点プロジェクトを基軸とした施策の推進、都市としての付加価値の向上につなげます。

